

令和元年度 第1回公共交通勉強会（兵庫県）が開催されました

（近畿運輸局）

令和元年7月26日（金）、兵庫県民会館にて、令和元年度第1回公共交通勉強会（兵庫県主催）が開催されました。兵庫県下の自治体をはじめ、交通事業者、業界団体などから100人超の参加者が集まり、兵庫県における公共交通への熱い思いが改めて感じられました。

前半では、兵庫陸運部から、道路運送法をはじめ、地域公共交通形成計画やバスなどの運行に関する法令規則から、地域公共交通確保維持改善事業等支援制度まで、交通政策担当者として必要な知識について、説明を行いました。参加者からは、「交通政策基本法及び交通



（兵庫陸運部より制度説明）

政策基本計画について、各々の基本的方針に対して数値指標が設定されていることを知り、施策を具体的にイメージすることができた。普段は補助金の申請に携わらない部署にいたので、かねてより国の補助制度について勉強したいと思っていた。自治体、事業者が同じ場所で学べる素晴らしい機会なので、今後も勉強会があれば是非参加したい。」といった声があがりました。

後半には、昨年の地域公共交通優良団体大臣表彰も受賞された、大分市都市交通対策課及び大分市タクシー協会より、みんなでおでかけ「ふれあい交通」～ 테마・ヒマ・オジャマで真の利用者の声を反映～と題して、交通不便地域における乗合タクシー「ふれあい交通」の導入によりバスと連携した公共交通ネットワークを構築した事例について紹介いただきました。また、利用頻度の高い住民自らが参画して運行計画の策定・見直しを行う仕組の運営や、地域のタクシー事業者全体で運行を担う体制の構築などについて、交通事業者側の視点からの苦労話も聞かれ、今後の交通施策展開にあたって、関係者が協働して地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ好事例ではないかと思えます。事例紹介後も活発な質疑応答が行われ、地域を越えて事例の共有ができた有意義な時間であったと感じられました。



（大分市より事例紹介）

兵庫県には、都市部から地方部までバラエティに富んだ地域がありますが、地域の特性に応じた地域公共交通の確保・維持・改善は、住民の生活に欠かせず、より豊かなものにする可能性も秘めます。近畿運輸局では、今後も、このような勉強会などの機会をとらえて、地域公共交通に関する様々な情報提供やノウハウの共有を行い、理解の向上や地域を構成する方々の協働の契機となるような取組みを推進して参ります。